

2024年8月6日

お客様各位

株式会社パリミキアセットマネジメント
代表取締役社長 磯野 昌彦

「コドモファンドおよび浪花おふくろファンド」の基準価額下落について

8月6日の基準価額と騰落率

	基準価額 (円)	前日比 (円)	前日比騰落率	ご参考
コドモファンド	23,538	△688	△2.84%	8/1~8/6 (△6.56%)
浪花おふくろファンド	28,202	△1,567	△5.26%	8/1~8/6 (△8.77%)

本日は、コドモファンド（基準価額 23,538 円 前日比△688 円）、浪花おふくろファンド（基準価額 28,202 円 前日比△1,567 円）と両ファンドとも大幅に下落し、皆様には大変ご心配をかけました。

もともと弊社では8月、9月は、大きな調整の可能性があると思定し、7月中旬から、両ファンドとも、株式相場全体の影響を受けやすいものを中心に売却し、キャッシュ比率を高め（22%程度）にしていたのですが、株式市場の暴落ともいえる下落に伴い大きな下落となりました。

引き金は、日銀の金利の引き上げの発表とそれに起因する急速な円高、米国では先週末発表の雇用統計の失業率の上昇に対して、年初から強気材料となっていた景気の減速懸念やAIブームの陰りが持ち上がった事で、株価は急落しました。さらに、利下げで景気減速を乗り切るということになれば、さらなる円高ドル安が進むことで日本株式市場に対するダメージが懸念されています。

しかし、昨年の秋から急速に上昇してきた日本株式市場は、円安だけで上昇してきたわけではなく、2013年から始まったアベノミクスの中で推進されてきた企業統治改革の成果が外国人投資家にも評価され、昨年の東証のPBR1倍以下の企業に対する改善策要請などでも評価を新たにするきっかけとなりました。

米国株式市場も、AI革命は、長期的には大きな奔流となってマグニフィセント7に代表される一部の企業だけではなく、米国株式市場全体を成長させていくと思っています。

今回の大幅下落は、昨年11月から、あまりにも順調に上昇してきた日米株式市場に「このまま上昇していったらほんとに大丈夫？」という投資家の素朴な不安心理が上記のいくつかの事象と共鳴して起こった事ではないのでしょうか。

「チャンスの調整局面」との認識でいますので、皆様の「あいのり」をお待ちしております。

以上

◆ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様には帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

◆ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

目論見書のご請求は、株式会社パリミキアセットマネジメント業務管理部（下記、お客様専用通話料無料ダイヤル）までご連絡ください。

◆当資料のご利用にあたっての注意事項

当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。

■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

株式会社パリミキアセットマネジメント

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第 2727 号

一般社団法人 投資信託協会会員

〒104-0061 東京都中央区銀座二丁目 8 番 4 号 泰明ビル 2 階

お客様専用通話料無料ダイヤル：0800-5000-968

